

宇部のコミュニティ・スクール

(地域とともにある学校づくり)

「第2回 宇部市地域コーディネーター研修会」

「地域とともにある学校づくり」を推進し、学校を核とした地域づくりを進めていくためには、地域と学校をつなぐ地域コーディネーターの役割が重要です。先日、今年度2回目の地域コーディネーター研修会を開催しましたので、その概要をお知らせします。

1 講話 大内まちづくり協議会 阿部正二郎 地域学校協働活動推進員

地域と学校をつなぐ地域コーディネーターの役割について、地域学校協働活動推進委員としての様々な経験を元に具体的に話されました。

学力向上教室での人材確保、地域学習や教科学習における支援者との連絡調整等、コーディネーターとしての自身の取組を紹介。また、地域住民としての立場から地域の思いを学校に伝えていく取組は、学校が「地域づくりの核」としての役割を期待されている中、大いに参考になるものでした。地域住民としてまちづくりに積極的に関わってこられた経験がコーディネーターとしての活動に深く生かされ、コミュニティ・スクール活動に今後どのように関わっていくか、コーディネーターとしての視野を広めることのできる講話でした。



2 パネルディスカッション「地域に情報をどう発信するか」

＜パネラー＞

大内まちづくり協議会 阿部正二郎 地域学校協働活動推進員

西岐波小学校 丸山登容子 教諭

「かかわり」「日常」「見える化」の3つが学校と地域の連携を確かなものにするキーワードであり、学校から発信した情報が「地域に届く」鍵にもなることを分かりやすく説明。日常的な来校者との関わりやふれあいセンター訪問等により、学校と地域が情報を相互に「共有」しながら子どもたちを見守り育てていくことの大切さを紹介。

厚南小学校 川崎裕美 地域コーディネーター

厚南小学校のイメージキャラクター「こうなんちゃん」を、コミュニティ・スクールの様々な活動に登場させ、キャラクターを通じて情報を紹介する取組を紹介。学校運営協議会便りの発行に当たっては、受け取る側の手元まで届くことを意識し興味をもってもらえる内容にしていること、学校運営協議会委員が確かな共通理解を図るために「活動記録」を書いていることなど、これまでのコーディネーターとしての取組を分かりやすく紹介。

＜パネルディスカッションのコーディネーター＞ 宇部フロンティア大学 伊藤一統 教授

パネラー3名の発言を整理し分かりやすく解説していただきながら、地域に届く情報発信について多くのご教示をいただきました。共有すべき情報が地域住民に見てもらえる内容になっているかという情報の質の問題、学校と地域の日常的なかかわりをとおした受信者にとって顔が見える情報発信、学校やふれあいセンターなど情報を持つもの同士の連携による効果的な発信のあり方など、ご指摘いただいた一つ一つの内容が大変参考になりました。



コミュニティ・スクールや地域協育ネットに関する活動情報をお寄せください。

宇部市教育委員会コミュニティスクール推進課

Tel 0836-37-2780

E-mail: ed-shakai@city.ube.yamaguchi.jp